

新型肺炎に負けない!子どもの最善の利益のために!

頑張ろう! こんな時だからこそ 繋がりがあって現場から声をあげましょう!



道高教組札幌支部
札幌市中央区大通西12丁目
高等学校教職員センター3階)
TEL 011-271-5875
FAX 011-271-5895
https://koukyousosapporo.jimdo.com/

新型コロナウイルスの感染拡大! 未曾有の事態に 対応に追われる 学校現場!

北海道の教育現場は再び未曾有の事態に直面しています。一昨年の北海道胆振東部大地震の時とは、内容は異なりますが、それぞれ学校の現場では、いかに目の前の子どもたちの感染から防ぐか、個々に異なる教職員の勤務対応をどう整理すべきか等々、様々な意見が交わされ、対応に追われたことかと思えます。感染の長期化も取りざたされ、先行きが非常に不透明な中でも、新年度に向けた議論を始めていくとの報告も聞こえています。現状では政府・文科省が、道・道教委

あまりにも唐突! 総理・知事のトップダウンの危うい

が、何を言い出すかはわかりませんが、地域の状況を踏まえ、それぞれの学校現場が、子どもたちや各家庭の状況をしっかりと把握しなければなりません。「子どもの最善の利益」(子どもの権利条約3条)を意識した判断を大切に、つながり合って困難や問題点を共有し、改善を求め声をあげることが必要なのではないでしょうか。あともう少しの間、頑張りましょう。

道教委へ 即座に要請

これに追隨して2日前の決定を翻したため、道内の公立高校は卒業式や入試への対応を切羽詰まった日程で判断することを余儀なくされました。事前に現場の様子を把握し、現場の声に誠実に耳を傾けていれば、もう少し子どもたちの願いに寄り添えたのではないのでしょうか。唐突で画一的なトップダウンほど、現場を苦しめるものはありません。「柔軟な制度運用にこそ知事はリーダーシップを発揮すべきだ」。医療現場で奮闘する医師のこの言葉を上に立つものは噛みしめるべきです。

教職員のための 「一斉休校」要請についての情報サイト

全国各地の情報が満載。いろんな地域や学校・団体のとりくみの様子がとても参考になりますよ。

<https://www.227kyukou-yousei.com/s/>

一斉休校に際して生徒に 伝えなければならぬことは?

急な休校措置で、生徒たちに教え・伝えるべきことを伝えきれなかったとの思いを募らせている方も多いのではないのでしょうか。

ここに熱い思いを発信した校長がいます。私たちは道教委の先機関ではなく、教育者であるということを実感させる心のこもった温かいメッセージです。

在校生のみなさんへ

(メッセージ)

北海道恵庭北高等学校長

生は、3月2日卒業式を迎えました。ただし、例年と違い体育館で挙行せずに、各教室で放送を聞きクラス代表が校長室で卒業証書を授与するという形になりました。また来賓や保護者には参列をご遠慮いただき、卒業生にさみしい思いをさせ34年の教員生活の中で一番胸の痛む卒業式でした。

コロナウイルス感染症の拡大防止より、北海道が緊急事態宣言を出し、国レベルでは政府が全国の小中高などに臨時休校を要請したことで3月2日から一斉休校が始まっています。人の免疫は、20歳がピークといわれ皆さんの年齢が感染する可能性は低いといわれています。しかし、若年層が感染に気づかないうちにウイルスを拡げている可能性が高いと考えられると専門家会議での見解が出ました。しばらくは、不自由を覚えますが家庭での待機をよろしく願います。

教科書にも載っていることですが、1923年関東大震災には在日朝鮮人への暴行がおこり、1973年のオイルショックでは紙不足によりトイレットペーパーがなくなるのではないかとスーパーに行列が出来ました。人は時として不安や噂により動いてしまふ動物です。今回も様々な情報が流れていますが、普通の生活を取り戻すために研究者始め多くの方々が知恵を絞って、今回の難局を乗り越えるために日夜頑張っています。恵庭北高校の生徒のみなさんが賢明な判断で噂や誤った情報を鵜呑みにせず、適切な行動をとってくださることを願うばかりです。具体的には、適度な運動や栄養補給をして、規則正しい生活をして下さい。とりわけカラオケやライブハウスなど閉鎖された空間に行かないこと、外出から帰ったときは手洗いが励行することなど保健だよりで示したとおりです。また感染しやすい高齢者や持病のある家族と住んでいる人は、特に気を付けて重症化させない気遣いをするのが肝心です。お年寄り、あなたより免疫力が低いので、病気に打ち勝つ力が弱いのです。また、今回の

休校措置は小中学生も対象なので幼い家族のいる生徒は、勉強を見てあげたり食事の支度や換気など世話を焼いてあげることも必要です。特に親が仕事で不在の場合、小さい子が頼りにするのはお兄さんやお姉さんです。一昨年の胆振東部地震の時、朝早く登校していた生徒に声をかけるのと、「両親が自衛隊に所属しているの、昨夜は私が弟妹の面倒をみました」と真っ直ぐな眼差しを向けて話してくれた生徒がいました。恵庭北高生には、そんな力を持っていて人がたくさんいます。皆さんのとる行動が、あなたの未来や周囲の人にとどんな影響を与えるかを考えて休業中過ごして下さい。

残念ながら、お世話になった卒業生やクラスの友人にいつ再会できるかは未だ不明です。情報化社会にいる皆さんだからこそ、大人が考えもつかない方法で自分の実になる時間を過ごして下さい。間違っても、昼夜逆転しスマホ依存症になることを進んで選択することがないように期待しています。恵庭北高の底力を今こそ発揮しましょう。

【高教組札幌支部 闘争・平和カンパのお礼】

道高教組70周年記念協賛金をはじめ、今年度も夏季・冬季の「闘争・平和カンパ」にご協力いただき、本当にありがとうございました。70周年記念協賛金につきましては、6月と9月に高教組情報を皆様に配布させていただくなどに活用させていただきました。また、闘争平和カンパにつきましても、秋から冬にかけて実施している「賃金・定員教育予算道教委交渉」交渉団費用や全教職員配布の支部機関紙「はばたき」の発行、あるいは長崎で開催された原水爆禁止世界大会・さっぽろ平和行動などの共闘・平和のとりくみなどに活用させていただきました。今後とも変形労働時間制導入に反対するとりくみとともに、働きやすい職場づくりのために活動を広げて行きます。引きつづきご協力をよろしくお願いいたします。